

# 日本企業の経営・会計 2単位

担当教員：徳前 元信

会計の基礎知識を通じて、日本の大企業の経営と会計の特徴を理解する

## 講義目的・到達目標

### 企業の会計の基礎知識を学ぶ

企業の会計や経営分析とは何か。特に貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書とは何かを説明する。加えて日本の大企業全体の会計の概要について説明する。

### 日本の大企業の実例から、その経営・会計と労働・管理の特徴を理解する

最初に日本の大企業全体の現状を説明し、実際に経営分析の方法により分析の演習を行う。そして大企業全体の経営と会計の特徴を説明する。次に日本の大企業における会計方法の利用状況とその方法の特徴を説明し、新聞記事等を利用して大企業の会計の特徴を説明する。さらに日本の大企業における生産システムを説明し、その生産システムと会計との関係を説明する。最後に日本の大企業における労働現場の実態を説明し、工場労働者の労働と管理の特徴を説明する。

## 講義の構成

### 講義の流れ

まず全体の講義の目的と講義の進め方を説明し、講義を受講する場合の注意点を説明する。次に企業の会計や経営分析の基礎を説明する。その後、日本の大企業の実例からその経営・会計と労働・管理の特徴を説明する。大企業の実例に基づく講義では、最初に大企業全体の経営や会計の特徴を説明する。次に大企業の利用する会計方法の特徴を説明する。次に特定の大企業における生産システムと会計との関係を説明する。最後に特定の大企業の労働現場における工場労働者の労働と管理の特徴を説明する。

1 講義の目的・講義の進め方

2 企業の会計及び経営分析の基礎知識

3 大企業全体の経営と会計の特徴

4 大企業の利用する会計方法の特徴

5 特定の大企業の生産システムと会計の関係

6 特定の大企業の労働現場における労働と管理

### 講義のポイント

1. 各講師が利用する経営、会計、労働、管理等の用語の意味はどんな意味か。
2. 各講師が説明する経営の特徴、会計の特徴、労働の特徴、管理の特徴とは何か。
3. 各講師の説明に関して自分のこれまでの経験や勉強に基づいて、どのように感じたか、またどのような意見を持ったか。

## 受講するにあたって

- ①事前学習のすすめ  
特に指定しないが、会計、決算、経営分析等の入門書を一読することを推奨する。また電卓等の計算機を持参すること。
- ②参考図書  
特に指定しない。
- ③評価基準  
A-講義のポイントの大半以上を正しく理解し、一定の知識・経験を根拠にして自分の見解を十分に展開できる。  
B-講義のポイントの大半以上を正しく理解しているが、一定の知識・経験を根拠にした自分の見解を十分に展開できていない（その見解は感想に近い）。  
C-講義のポイントを正しく理解している部分もあるが、誤って理解している部分もある。  
D-講義のポイントの大半以上を誤って理解している、または講義のポイントが示されず、ただの感想文にとどまる。
- ④より学びを深めるために  
特に参考図書を指定しない。